

# 都市再生整備計画 事後評価シート

## 塔寺・気多宮地区

平成24年2月

福島県会津坂下町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福島県	市町村名	会津坂下町	地区名	塔寺・気多宮	面積	30.6ha					
交付期間	平成19～23年度	事後評価実施時期	平成23年度	交付対象事業費	106百万円	国費率	0.4					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業	道路(塔寺宇内線、塔寺寺前線) 街なみ環境整備事業(広場1、広場2、街なみ整備助成)										
	提案事業	なし										
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	基幹事業	なし										
	提案事業	なし										
新たに追加した事業		基幹事業		なし								
		提案事業		なし								
交付期間の変更		当初	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
		変更										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度				
	指標1	修景整備実施率(屋根の色の統一)	%	33.00	H18	41.00	H23	41.00	○	あり - 赤や青などの不揃いな屋根の色を、茶系に統一することにより、おちつき感のある景観形成が図られた。	平成24年4月	
	指標2	歩道設置率	%	0.00	H18	8	H23	8	○	あり - 区域内の幹線町道に164.7mの歩道を設置することにより、歩行者の安全確保を図り、住環境の向上が図られた。	平成24年4月	
指標3	透水舗装率	%	24	H18	33	H23	33	○	あり - 集会場へ向かう坂道27.1mを透水舗装し、幹線町道164.7mを排水舗装道路とし、雨の日の水はねを緩和し、人にやさしい道路の築造により住環境の向上を図った。	平成24年4月		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	広場の整備数	箇所	0	H18			2		広場が整備されたことにより、住民の集いの場所ができ地域の繋がりが強まった。	-	
4) 定性的な効果発現状況	①住宅・土蔵等の修景事業の推進により、門前町や宿場町として調和のとれた景観が創出されてきている。 ②透水・排水舗装を施行し、人にやさしい道路の築造と、道路の美化により快適・安全なみちを確保し住環境の整備が図られた。 ③広場が整備されたことにより、住民の集いの場所ができ地域の繋がりが強まり住環境の向上が図られた。											
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	・地域住民や観光客など利用する方々に整備したことによる満足度等を調査するためアンケートの実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた				・整備した道路に関しては、ほぼ満足度が高いが、それによって整備箇所以外の部分が目立ってきているので、整備を行っていく。			
	住民参加プロセス	①街なみ整備協議会を定期的に開催する。 ②街なみワークショップを開催し住民の意見を反映させる。			都市再生整備計画に記載し、実施できた				①連絡を密に取りながら情報の共有し、地区との乖離が無いよう整備を進める。 ②ワークショップにより方針の再検討や方向付けが行われた結果を、今後の整備方針等に取り入れて進める。			
	持続的なまちづくり体制の構築	・毎月第1日曜日を清掃の日に定め、地元住民との協働による広場の管理と、自然的地形を活かした蜜の育成活動の推進			都市再生整備計画に記載し、実施できた				・地区の状況の変化に対応していくため、定期的に話し合いを行いながら、効果的な管理方法等を検討していく。			

## 様式2-2 地区の概要

### 塔寺・気多宮地区(会津坂下町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 出合いの街道・美しい田舎町を目指し、景観、安全性、快適性、利便性に配慮した住環境の整備を図る。 目標 1 歴史的遺産や地区の財産である住宅・土蔵の資源を活用した景観の向上を目標とする。 目標 2 快適・安全な道づくり等の住環境整備を目標とする。	修景整備実施率(屋根の色の統一)	%	33 H18	41 H23	41 H23
	歩道設置率	%	0 H18	8 H23	8 H23
	透水舗装率	%	24 H18	33 H23	33 H23
	広場の整備数	箇所	0 H18		2 H23

#### ①修景整備(屋根の色の)

旧越後街道沿いの街なみの保全、形成のため、屋根の色の統一(茶色)、土蔵、板塀等の修繕の助成を行いました。



#### ③広場1

水路を引き込み、子供達が水に触れ親しめる場所を整備しました。



整備後

#### ④広場2

町歩き中の休憩及び周辺地区の憩いの場として整備しました。



整備後

#### ②道路(歩道設置、透・排水舗装)

道路舗装を透・排水舗装とし水はねのない快適な道路とし、周辺施設を訪れる観光客、公共施設を利用する地元住民の安全のため歩道を整備しました。



整備前



整備後

#### まちの課題の変化

- ①目標以上に修景事業が進んでいるが、今以上に効果のある修景事業を推進する必要がある。不揃いな建物が目立ち歴史あるまちなみ景観の創出のために継続した事業推進が必要である。
- ②透水・排水舗装を施行し、人にやさしい道路の築造と、道路の美化により快適・安全なまちを確保し住環境の整備を図ってきた。
- ③④広場等の整備に伴い除草対策等の維持管理の必要性が出てきた。

#### 今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 効果を持続させるために行う方策
  - ①まとまりが出てきた屋根の色あいについて、今後も推奨し継続していく。
  - ②透水性舗装により整備された歩道の適切な維持管理のため、清掃及びメンテナンスを定期的に行っていく。
  - ③地区の憩いの場として適切な維持管理のため、清掃及びメンテナンスを行っていく。
- 改善策
  - ①街なみの連続性を図るよう、目に見えやすい板塀や植栽など外壁や外構等の修景を推進していく。
  - ②月1回の広場清掃と除草が高齢化等により地区住民の負担となっているので、負担軽減となる方法を検討する。